



都島だより

発行責任者

西村 功

〒241-0002
横浜市旭区上白根2-35-5
TEL 045-953-4726

(社)浪速工業会
関東支部会報

2011年(平成23年)5月 第43号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056
横浜市港南区野庭町696-6
TEL045-841-8885
E-mail nanium@c3-net.ne.jp

題字デザイン 岡田宏三

NEWS43号

関東支部・現在会員数 ◆ 合計539名

◆M・機械113、ME・機械電気25名◆A・建築92名◆E・電気・電子工学173名◆C・土木・都市工学52名◆C I・工業化学・理数58名◆L・普通11名◆工専15名

平成二十三年度
関東浪速工業会会長ご挨拶



M36 西村 功

この度の東日本大震災により被災された皆様は心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復旧・復興を切にお祈りいたします。また、関東支部の会員におかれましてもメールで確認できる方に安否確認を致しました結果、仙台市及び福島県いわき市に在住の5名の方より人的な被害はなかったとのご返事を頂き安堵したところがございます。しかし、地震の影響は関東一円に及んでおり、家財等の被害は大なり小なり生じており、どうかご安全に一日一日を大切に過ごされますようお願い申し上げます。

さて、記録的な大地震と想像を絶する津波、そして予想だにしていなかった原子力発電所の事故と電力不足という過去に経験していない事態が次から次へと起こり、まだ余震が終結せず不安な日々を過ごすことを余儀なくされておりますが、季節はいつの間にかさわやかな新緑の季節になってまいりました。

浪速工業会関東支部の皆様には、平素より本会の運営に当たり何かとご協力並びにご支援を賜りまして厚くお礼を申し上げます。1月の総会におきまして昨年に引き続き会長の役務を仰せつかることになりましたので宜しくお願ひ申し上げます。今年度は今後とも支部活動が継続的に行えるよう

次の2つにポイントを置いて進めていきたいと考えておりますのでなにとぞ皆様のご協力をお願いします。

一、幹事会における作業部隊の分散と拡充により支部活動の持続化を図る。

従来、事務局と作業部隊に作業の偏りがあったため、事務局に補佐役を1名追加し、諸行事の企画・案内・会計処理等取り纏め役として新たに3名の体制で専任して頂くことにしました。(詳細下記)

二、現役の方が参加しやすい仕組み作りをする。

従来会社生活を終えたOBを中心として諸行事が企画されておりましたが、現役の人達が参加し易い雰囲気と環境作りが重要でありますので、本年度の行事につきましてはそのポイントを最重要課題として進めていきたいと考えておりますので、皆様の今まで以上のご協力を宜しくお願ひします。

今回の会長職2年継続は以上の活動を円滑に進める為の暫定処置として実施するものであり、次年度以降については改めて幹事会で審議の上総会の場で計らせて頂きたいと考えております。最後になりましたが、暗いニュースで明けた今年度であります。皆様にはご家族共々健康で明るく安全な年となりますよう祈念しましてご挨拶とさせていただきます。

平成22年度 関東浪速工業会総会

平成23年1月21日(金)に西新宿・住友ビル47階にある住友クラブにて関東浪速工業会の平成22年度総会が開催されました。浪速工業会本部より岩井理事長、栗根学校長をお迎えし、参加者は来賓の方々を含め34名でした。また今年度は平成16年卒業の岡崎氏の初参加もあり盛況な会となりました。



総会報告
2011.121



- 会 長：M36西村 功
副 会 長：A37森 芳信
会計監査：A28酒井 保
事務局：(正) E36馬江 治喜・(副) E36石垣 英明 (新任)
総務(総会担当)：M26上田 英雄・M36西村 功・M42前田 範行
Mニュース担当：A37森 芳信・A57信原 利行
行事担当(一泊懇親会、見学会、桂米左独演会) (新設)
E35田中 浩・C33松本 信行・C140菅家 亘通
行事担当(ゴルフコンペ)
E36竹村 繁幸・E36笹治 博司
行事担当(陶芸教室、建築等見学会)
A28酒井 保・A37森 芳信・A57信原 利行

関東支部幹事会の役務分担について

関東支部の運営に当たり、幹事の中から諸役務を選任し事務処理と諸行事の推進を行っていますが、今年度は新たに4名の方に加わって頂きましたので、旧来の担当役務も含め左記に紹介いたしますので宜しくお願ひします。

関東支部への初参加

Fresh!



ME H16 岡崎 彰

私は平成16年3月に都工機械電気科を卒業し、その後さらに6年間学生として過ごしました。そして平成22年4月から関東で職に就く事となり、大阪から埼玉へ引越してきました。故郷とは違う土地で社会人をスタートするという周りが何もかも新しいという状態でしたが、不安よりも期待の方が大きく、意気揚々とその春を迎えた事を覚えていません。しかし母校へ気軽に行く事が出来ず、毎年見に行っていた体育祭や文化祭も諦めざるを得なくなり、寂しい思いをしました。一方で、引越越しをして早々に、浪速工業会関東支部からMニュースや行事予定等のご連絡をいただきました。その中でも、関東浪速工業会総会が1月に開催されると書かれてあるのを見た時、体育祭や文化祭と同じく毎年参加していた萌芽会の総会を思い出し、是非とも参加したいと思いました。その思いは、都工祭に行けなかった秋に一層強くなりました。そうして、平成22年度の関東浪速工業会総会にて初めて出席させていただいたわけですが、会場に着いたときの印象では「私がここにいるのは場違いではないだろうか」と感じてしまいました。集まっておられる方々は皆大先輩ばかりで、私のような者が参加するのは恐れ多いとオドオドしていました。しかしながら、総会中には多くの方々から声を掛けていただき、温かく迎え入れていただいたという実感があり、最初のネガティブな思考は取り越し苦労のようでした。二



次会の方でも明るい雰囲気、様々な会話を花を咲かせました。その中で私は、皆さんがとても誇らしげにお話しされているなあ、という風に感じました。また、「パワフル」や「エネルギーシユ」という言葉が似合う立ち振る舞いで、私が「こうなれたらいいな」という都工の先輩としての在り方を見る事が出来ました。私はより良い自分を目指すため、「様々な経験を積む」ということをモットーにしています。しかし、自分自身で実験できる事には限りがあります。そういう時には、やはり自分よりも経験の多い方からのお話がもの凄く重要であると思っています。この度の総会は、私にとってまさに自分を豊かにする絶好の機会でありました。ですが、総会・懇親会、二次会とありましたが、多少緊張してその場に対して不慣れであった自分と限られた時間内という状況下では、まだまだ先輩方から吸収すべき事が多く残っていると思います。もしよろしければ、次回の総会及びご都合の良い時に、先輩方の経験・体験談を是非お聞かせいただければと思っています。特に、今回の総会では私の他に機械電気科卒業の方が参加されているので、次回の総会にお会いできる事を願っています。

見学会のご案内

行事担当より

本年の見学会は茨城県つくば市にあるJAXA筑波宇宙センターの見学を計画しました。皆様奮ってご参加下さい。内容は右下をご参照願います。

見学会



JAXA 筑波宇宙センター



開催日 平成23年7月23日(土) 11時
 日程 ツアー見学に参加、見学会終了後に懇親会を開催
 費用 交通費・懇親会実費
 詳細 参加申込者に別途詳細スケジュールをご案内します。

申込締切 平成23年7月1日(金) 厳守
 申込方法 行事担当 田中浩(E35)まで
 学科、卒年、氏名、参加予定人数をFAX又はEメールにてお申込み下さい。
 TEL・FAX 045-580-4997
 Eメール hakanat-6140@nifty.com

一泊懇親旅行会のご案内



行事担当より

毎年恒例の一泊懇親会で、今年は11月に開催いたします。皆様御誘い合わせの上ご参加下さい。



開催日 平成23年11月13日(日) から14日(月) 一泊二日
 会場 丹沢大山国定公園、七沢温泉郷の旅館(厚木市)に宿泊、大山阿夫利神社参拝、ハイキングを予定。
 費用 一万五千円程度
 詳細 参加申込者に別途詳細スケジュールをご案内します。

申込締切 平成23年10月15日(土) 厳守
 申込方法 行事担当 田中浩(E35)まで
 学科、卒年、氏名、参加予定人数をFAX又はEメールにてお申込み下さい。
 TEL・FAX 045-580-4997
 Eメール hakanat-6140@nifty.com

青薨会

関東青薨会催しへのお誘い

A37 森 芳信

関東青薨会の本年の催しは恒例の『陶芸会』と横浜の街と歴史的建造物を散策する『横浜洋館めぐり』との二本立て企画しました。陶芸会は例年通り陶芸家A46卒 柚木 寿雄氏の工房にて開催します。両企画とも他科の皆さんの参加も大歓迎です。

①『陶芸会』

開催日時 9月10日(土) 13時より
 日程 17時まで陶芸体験を行い、終了後に国立駅周辺にて懇親会開催
 開催場所 国立市『国立自由工房』
 費用 7,000円(懇親会費含む)
 定員 二十一名(定員になり次第締切)



②『横浜洋館めぐり』

開催日時 10月22日(土) 13時より(雨天決行)
 内容 桜木町駅で集合し赤レンガ倉庫、山手近辺の洋館などを見学後、中華街にて懇親会を予定。
 費用 交通費、入館料、懇親会費各自負担

★参加申込

申込締切 8月20日(土)
 申込方法 催し名・卒科・年・氏名をFAX又はEメールにてA37森 芳信まで
 FAX 04-7184-8413
 Eメール 3tree-yoshi@com.home.ne.jp
 (集合場所等詳細は申し込み受付後ご案内します)



横浜洋館めぐり



ピースボート旅行記

CI 39 馬場 義甫

地球一周の船旅



PEACE BOAT

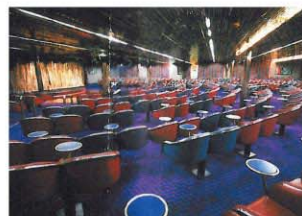
最終回



4、船内生活

海洋クルーズでは寄港地の楽しみもあるが、時間的に長い船内生活をいかに楽しむかが大切である。カジュアルな船旅を演出する空間として、「客船」は単に移動手段だけでなく、クルーズを通しての「我が家」となる生活空間でもある。クルー(乗組員)は日本をはじめ、世界各国から乗船する多国籍で、レセプション(受付)やレストラン、キャビンの清掃等を担当してくれてとてもフレンドリーであった。専属シェフが腕を振るう多彩な食事は、船内生活の楽しみの一つでもある。朝食と昼食は和洋とりまぜてのビュッフェ形式(バイキング)。夕食は日本人シェフが和食をはじめとした、多彩な各国料理を提供してくれる。長期な船旅で心配なのは健康管理であるが、日本人医師と看護師(どちらも現役の若手だった)がフルクルーズで乗船している。乗船前に短くカットした髪も長旅では伸びてくる。そのために理容室を兼ねた美容室があり、中年のハンサムな美容師さんで、いつも予約で一杯であった。ちよつと疲れたらマッサージ室(有料)、運動不足な方は無料で利用できるプールやジムで汗をかき、ジャグジーで温泉気分が味わえる。スポーツデッキでは毎日のように催されるラジオ体操、太極拳、エアロビクスなどの企画にトライすれば、心身ともリラックスなクルーズライフが楽しめる。食事は朝、昼、夜の三食で十

分であるが、気分を変えたいときやグループで飲みたいときは、洋上居酒屋の「波へい」日本の居酒屋気分が味わえる。ちよつと大人の気分でおしゃれにワインでも飲みたいときは、スターライトバーやラッキースターバーで、外洋を眺めつつ飲みたいときはピッサバーで、運がよいとイルカやクジラを肴に飲むことができる。洋上では日々バラエティ豊かなイベントが数多く催される。例えば、ウェルカムパーティー、ダンスパーティー、大運動会、スター誕生会、ベストカップル選考会などは船側の主催で行う。一方イベントに参加するだけでなく、乗船者みずから発案する「自主企画」では、乗船客の趣味や特技の披露の場となり、参加する人は乗船中にいろいろなことを学ぶチャンスでもある。因みに私はテニスに興味なので自主企画として、「テニス教室」を開催した。テニス教室開催を新聞に掲載すると、参加希望者が30人ほど集まり、経験者が6人で後は初心者であった。場所はスポーツデッキ(コートの半分程度)で、ラケットとボールはピースボートから借りて翌日の10時からスタート。途中から朝は初心者、夕方は経験者のクラスに分け、下船するまで参加者の熱意で継続できた。船の上の「360度の水平線」に囲まれた空間には、バックグラウンドの異なる実に多彩な顔触れの人たちと、ふとしたきっかけで知り合いになれる雰囲気が出される。時間がゆっくり流れる船の上では、当然仲良くなれる機会が多く中年以降の年代ばらの噂であった。この噂話がご婦人がたの世界では蜜の味のごとく、ことまことしやかにささやかれるらしい。(完)



ブロードウェイショールーム



ラウンジ

関東E36会懇親会

E36 馬江 治喜

3月17日に開催予定だった関東E36会懇親会、3月11日に発生した東日本震災の影響で急遽4月27日に変更しました。当初は大阪より森田君も出席予定でしたが、日程変更となったため残念ながら1名少なくなつての開催となりました。同じく大阪組の佐治君は遠路、大変ご多忙にもかかわらず、ご参加頂きました。関東組の皆様も大変ご多忙にもかかわらず8名のご参加を頂きました。今まで開催場所の件では毎回細川君のご協力です。ご配慮頂いていましたが、今回は少し趣を変え、今新名所となりつつある東京スカイツリーと浅草寺をぶらつく事になりました。ご存知のように東京スカイツリーは(株)日建設計の設計で(株)大林組の施工で建築中です。今は完成時の634mの高さまで出来上がり、目下内部の施工に移っており来年3月の完成に向けて工事中です。日建設計と言え、同期の竹村君が都工卒業後定年まで勤めた会社で都工の先輩、後輩が多数勤務されており、現場の近くでスカイツリーを見上げると今にも覆いかぶさってくるような感じでした。浅草寺では赤尾君の提案で、滅多に拝見

できない浅草寺大絵馬寺宝展と庭園の拝観をしました。その後もんじや焼きとお好み焼の食べ放題のコースに挑戦しましたが、我々は大坂出身、どうしてもお好み焼の方に人気がありました。その後カラオケボックスへ、日ごろの喉自慢を披露しました。我々同期は今年古希を迎えます。今回もE36会に多数参加いただきましたが中には体調が余り良くない人もおられ、お互い元気を頂いて出来るだけ続けていこうと言う事でお別れとなりました。尚6月10日の母校卒業50年の行事に出来るだけ多く参加しようと言う事と、森田君が企画している、都工電気科卒業50年の記念誌への原稿の寄稿をお願いしました。参加者は大阪より佐治君、関東組は赤尾君、安部君、石垣君、牛窪君、笹治君、竹村君、三木君、馬江の9名でした。



浅草寺庭園より



東京スカイツリー現場前

E36会



緑の道、巡礼の道

SPAIN



A27 田中 瑛也

スペイン、マドリッドの王妃センターで見たゲルニカの絵、ピカソの数多く描いた秀作の一つである。1937年4月26日ドイツ空軍が、フランコとスペイン人民戦線の内戦に干渉して、大西洋岸の都市ゲルニカを爆撃した。

この絵で抽象的ではあるが、人類を滅ぼす戦いという悲惨な光景が胸を打ち、その地ゲルニカへの旅を誘う。この香りが漂う小都市のシンボルは、ビスカヤの議事堂の庭の中心に立つ榿の木で、切り倒された木株が、8本の円柱で支える屋根で保護されている。(写真1)

かつてこの木を真ん中にバスクの人民が、自治を討議した軌跡として遺されている。樹木を愛する民族として、古来日本人は鎮守の森に、集落の意志の疎通を計った場を求めたことと考えると親近感がわく。

このゲルニカに限らず。北スペインは、海洋性湿潤気候で緑豊かな地帯である。フランスとの国境、ピレネー山脈を越えバスク、カンタブリア、アストゥリアス、ガリシアの四地方は、人々が抱く白い壁、蒼い空、太陽の国スペインのイメージと異なつた別空間を提供する。

穏やかな自然環境とは、裏腹にスペインが抱える民族問題、バスク独立運動が暗躍する地でもある。歴史をさかのぼれば、レコンキスタと呼ばれる中世期にキリスト教徒が、イスラム教徒と戦つた最後の戦線の地域でもある。

その抗争の相は、フランスの諸都市を起

点として築かれた巡礼の道と称される道に沿つて存在する宗教建築に神への祈りという厳肅な容姿で、見いだされる。

パンプローナ、ブルゴス、レオン、サンチャゴ・コンポステラ等々の諸都市の聖堂、宮殿、修道院、記念碑等枚挙にいとまがない。

建築様式の特徴は、スペインロマネスク様式を基調として、後年スペイン国隆盛期にバロック様式に改修され、同時に建物の細部にアラブの建築様式の片鱗も見られる。(写真2)

レオンの大聖堂のステンドグラスは、フランスのシャルトルのそれに比肩するといわれているが、何といつてもサンチャゴ・コンポステラ(星の野の聖ヤコブ)の大聖堂が極付けである。ヴァチカン、エレサレムとならびキリスト教三代聖地の一つの挙げられるこの地は、今日でも徒歩で国境を越え、欧州各地から巡礼に訪れる人々は跡を絶たない。エレサレムで殉教した聖ヤコブは、海路で当地ガルシヤに運ばれ、葬られた。九世紀、彼の墓が発見され、期を一にしてスペイン国土を蹂躪していた国土回復運動は、大聖堂の建設を促した。スペインロマネスク様式、ゴシック様式、バロック様式と建物の変遷は、歴史を物語る。正面、栄光の門に立つ聖ヤコブの像は、人々の訪れるかの如くたたずむ。名匠マテオによつて構想された、ヨハネ黙示録にも



写真1



写真2

とづいてキリストが神の子として栄光を与えられた場面を二百体にも及ぶ彫塑で門の周辺を飾る。この宗教的荘厳さは、室内主祭壇に眠る聖ヤコブの棺への祈りへと誘う。(写真3)

かように、緑の道、巡礼の道は終着地、サンチャゴ・コンポステラに至るまでも、道中アストガルに建てられたガウディが設計した、司教館に代表される綺想な建物も目を楽しませてくれる。鮮やかな緑豊かな自然、壮大で精緻(せいち)な宗教建築の人工美の調和は、一大交響楽を奏でている。



写真3



EU圏シリーズ (3回)

- 第1回東端 フィンランド (Mニュース39号掲載済)
- 第2回西端 アイルランド (Mニュース42号掲載済)
- 第3回南端 スペイン (今回)

浪速工業会 ホームページのご紹介

平成21年にリニューアルされた浪速工業会本部のホームページは、白羊会、青薔会、青嵐会、昭土会、舎密会、萌芽会の各部会の情報や関東支部の過去のMニュースが掲載されています。ぜひご覧ください!



http://www.naniwa.or.jp

計報

E15年卒	西岡 英也氏	平成22年	9月22日
工専E23年卒	吉村 昇氏	平成20年	
E29年卒	尾藤 覚氏	平成21年	

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

次号のMニュースは平成23年11月発行予定です。

皆様の原稿をお待ちしています! 事務局までお送りください。

桂米左独演会のお知らせ

行事担当より



2011年10月30日 浅草見番

上方落語会で活躍中の桂米左(A59)木村佳氏 恒例の東京独演会の日程について連絡が入りました。会費等は未定ですが、ご興味のある方は、行事担当までお問い合わせください。お問い合わせをいただいた方には決定後に詳細案内をさせていただきます。

開催日 平成23年10月30日(日) 14時開演
開催場所 浅草見番(台東区浅草3-33-5)
会費 前売2500円、当日3000円
申込方法 行事担当 田中浩(E35)まで
学科、卒年、氏名、参加予定人数をFAX
又はEメールにてお申込み下さい。
TEL・FAX 045-580-4997
Eメール hakanat-6140@ifty.com